

第3回いじめ再調査に係る再発防止策等検討会 議事録

1 開催概要

- (1) 開催日時：令和2年1月12日（日）午後1時30分～午後5時15分
- (2) 場 所：鹿児島県庁行政庁舎 6階大会議室
- (3) 出席委員：高谷哲也委員（会長）、河内祥子委員（副会長）、甲木真哉委員、小山献委員
- (4) 公開・非公開の別：公開（議事(3)については非公開）
- (5) 傍聴者等：3人（報道6社）

2 議事概要

- 検討会の冒頭、会長から、議事(3)の「委員による検討」については、今後の検討会の進め方等について協議を行うこととし、協議の内容によっては個人情報等に関する内容が扱われることも想定され、また、委員間での率直な意見交換を行うため非公開の場で協議したいとの提案がなされ、検討会の議決の結果非公開とすることとされた。

(1) 外部有識者による講話

- 京都精華大学の住友剛教授が「鹿児島県のいじめ防止策の再構築のために」との演題で講話、質疑応答を実施

(2) いじめ調査に関する検証結果報告（県教育委員会）

- 「いじめ調査に関する検証結果報告（案）」について県教育庁から説明
- 主な意見・質疑応答

（委員）

- ・ 今回の事案を受けて、具体的にどう変わったのかというのが伝わりづらい。
- ・ 考察が全般的にかなり抽象的な感じを受けている。再調査報告書ではかなり踏み込んでいたが、それが薄れているような考察になっているが、どうしてこういう記載になったのか。
- ・ 具体的に、その状況の中で何をすべきなのかが見えるような形の検証や提言をして、それを先生や学校側にも伝わっていく形をとっていただきたい。
- ・ この検証の報告書をまとめるにあたり、なぜニュアンスが変わってしまうのか、どういう経緯・手続きでこの報告書が書かれたのかを把握したい。
- ・ 本来こうあるべきことについて、それができなかった背景や要因に何があるのかということに、具体的に検証の視点を当てて報告をいただくと、検討会としても具体的に実効性のある提言につながっていく。
- ・ 具体的に、これまでの検討や教育委員会の振り返りをもとに改善がなされてきたのか、ということが分かるようにしていただきたい。
- ・ 夏季の欠席など重要な情報が落ちてしまうような事態がなぜ起こったのかということ、教育委員会としてはどう把握しているか。

(県教育庁)

- ・ この検証について、ニュアンスが違って伝わったというのは、非常に反省すべき点だと思っている。そのような意図は全くなく、報告書を真摯に受けとめ、それに基づいて検証してきた。
 - ・ 委員からいただいた御指摘・御質問について整理させていただき、今後、御説明申し上げたい。
- 平成26年8月に発生した県立高校における重大事態（自死事案）の御家族が意見陳述。

(3) 委員による検討

- 「今後の検討会の進め方等」について、非公開の場で協議
- 協議終了後、公開の場で協議結果について会長から説明
 - ・ 第1に、御家族から御意見をいただいた件について、一度、非公開の場で、御家族と代理人に対し、要望の趣旨や今後の進め方について確認したい。
 - ・ 第2に、県教委に対し、検証結果報告の際に伝えた内容について、非公開の場で確認したい。
 - ・ 第3に、当該高校に対し、現在、具体的にどのような取組を進めているのかについて、非公開の場で確認したい。
 - ・ 第4に、非公開の場で、直接、子どもたちから話を聞く機会も設けたい。
 - ・ 次回検討会は、所掌事務の(2)や(3)の検討を行うこととし、その後、聴き取りの具体の対象や内容、実施方法等について協議を行う。

(4) その他

- 次回検討会について、令和2年2月17日（月）午後1時半から県庁内会議室で開催することを確認

(以上)